

埼玉県のカタビロアメンボ科（昆虫綱カメムシ目）

内田大貴・高野季樹（大日本ダイヤコンサルタント(株)・埼玉県立自然の博物館外部研究者）・阿部眞大（さいたま市）・佐藤日向（さいたま市立大宮北中学校）・岩田泰幸（公益財団法人文化財虫菌害研究所・埼玉県立自然の博物館外部研究者）

はじめに

カタビロアメンボ科 Veliidae は、アメンボ上科 Gerroidea に属し、流水から止水の水面に生息する小型の水生カメムシ類である（渡部，2016；松島ほか，2022）。日本国内では2025年までに25種が確認されているが（林・宮本，2018；Matsushima et al., 2021；Matsushima, 2022；松島ほか，2022；Watanabe, 2023；Watanabe & Hayashi, 2023；Aiso & Ishikawa, 2024；Kato et al., 2025）、本科は体サイズが微小であることから、野外における採集や同定が比較的困難であるため、国内各地で分布記録の報告が多くなく、調査不足が大きい分類群であると考えられている（渡部，2016；松島ほか，2022）。

埼玉県では、これまでに7種が記録されている（林，1998；司村，2019；宮崎・相蘇，2022；林ほか，2023）。しかし、埼玉県内においてもカタビロアメンボ科各種の採集記録は乏しく、一部の種では広範囲に分布すると考えられるものの、詳細な生息状況は明らかとなっていない。埼玉県を含む南関東では、開発の歴史が長く人口も多いため、水生昆虫全体の生息状況がきわめて悪化している地域が多いことや（西原・荻部，2009）、県内に生息する本科に属する種の一部には、「埼玉県レッドデータブック動物編2018」（埼玉県環境部みどり自然課編，2018）（以下、埼玉県 RDB と記載）ならびに「環境省レッドリスト2020」（環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室，online）（以下、環境省 RL と記載）の掲載種も存在することから、各種の生息状況の把握は急務である。

本研究では、埼玉県内におけるカタビロアメンボ科の生息状況の把握を目的として、県内全体の調査を実施した。これまで記録され

た既存文献の整理とあわせて調査結果を報告する。

調査方法

1) 採集調査

採集は各採集者が任意の期日において手網を用いた掬い取り等によりそれぞれ実施した。採集個体はその場で濃度70%エタノール水溶液または、酢酸エチルにて固定して持ち帰り、種同定後に乾燥標本を作製した。種の同定は Miyamoto (1959)、三田村ほか (2017)、林・宮本 (2018)、中島ほか (2020) に従い、外部形態および、雄個体については一部を交尾器の形状により同定した。記録標本は、すべて埼玉県立自然の博物館 (SMNH) に収蔵している。

2) 文献調査

これまで埼玉県内で報告されているカタビロアメンボ科について、記録文献を収集し、各種ごとに整理した。

結 果

調査の結果、埼玉県ではケシカタビロアメンボ *Microvelia douglasi* Scott, 1874、ホルバートケシカタビロアメンボ *M. horvathi* Lundblad, 1933、マダラケシカタビロアメンボ *M. reticulata* (Burmeister, 1835)、カスリケシカタビロアメンボ *M. kyushuensis* Esaki & Miyamoto, 1955、ナガレカタビロアメンボ *Pseudovelina tibialis* Esaki & Miyamoto, 1955、エサキナガレカタビロアメンボ *P. esakii* Miyamoto, 1959、オヨギカタビロアメンボ *Xiphovelia japonica* Esaki & Miyamoto, 1959の生息が確認されていた。各種のデータについて、「文献記録」には、これまで報告されて

いる文献情報を示した。「調査記録」には本調査での確認記録について標本データをそれぞれ示した。なお、文献記録および調査記録は、埼玉県環境部みどり自然課（online）の地域区分に従い、エリアごとのデータを分別した。備考には埼玉県 RDB ならびに環境省 RL 掲載種の選定ランクや、採集時の状況等を簡易的に記した。なお、レッドデータブック及びレッドリスト掲載種の採集データについては、市町村また区単位までの表記にとどめた。

1. ケシカタピロアメンボ

Microvelia douglasi Scott, 1874

〈文献記録〉

【東部】北葛飾郡松伏町金杉、三郷市〔「北東部」とのみ記載（田悟，2006）〕

【西部】嵐山町鎌形、東松山市神戸、小川町〔詳細未記載（古旗ほか，2023a）〕、小川町小瀬田沼、鳩山町〔詳細未記載（古旗ほか，2023c）〕、鳩山町須江

【中央】北本市石戸宿、鴻巣市鴻巣、川口市安行、さいたま市桜区〔旧浦和市下大久保・秋ヶ瀬〕

【北部】羽生市三田ヶ谷〔羽生水郷公園〕、本庄市〔旧児玉町秋山・金屋、十二天池〕、熊谷市〔旧江南町塩・御正新田〕、大里郡寄居町桜沢

【秩父】秩父郡皆野町三沢、秩父郡横瀬町荻米・宇根、秩父市〔旧吉田町取方〕、大霧山（林，1998；野澤，2005；田悟，2006，2020；古旗ほか，2023a，c；さいたま市，2021；内田ほか，2024b，2025）

〈調査記録〉

【東部】1雄1雌、蓮田市閩戸、2025年7月12日、佐藤日向採集；1雄1雌、越谷市大吉、2025年6月8日、内田大貴採集；1雄1雌、行田市水城公園、2025年6月21日、佐藤日向採集；1雄、北葛飾郡松伏町築比地、2023年8月20日、高野季樹採集；1雄1雌、白岡市新白岡、2025年7月21日、阿部眞大採集；1雄1雌、南葛飾郡宮代町山崎、2025年7月21日、阿部眞大採集

【西部】1雄1雌、日高市梅原、2025年7月27日、阿部眞大採集；4雄2雌、比企郡嵐山町広野、2025年4月29日、高野季樹採集

【中央】4雌、さいたま市緑区南部領辻、2024年6月16日、高野季樹採集；1雄、さいたま市見沼区見山、2025年6月16日、高野季樹採集

【北部】2雄1雌、深谷市中瀬、2024年7月27日、高野季樹採集；1雌、大里郡寄居町桜沢、2011年9月17日、岩田朋文採集；1雄1雌（図1A，B）、熊谷市上川上、2025年6月21日、佐藤日向採集；1雄3雌、熊谷市中曾根、2024年4月29日、高野季樹採集

【秩父】1雄1雌、秩父郡皆野町下田野、2009年9月20日、岩田朋文採集；1雄、秩父郡横瀬町中郷、2006年7月19日、岩田朋文採集；1雄1雌、秩父郡横瀬町中郷、2009年8月29日、岩田朋文採集；3雄2雌、秩父郡横瀬町横瀬、2006年9月13日、岩田朋文採集；1雌、秩父郡横瀬町横瀬、2024年7月27日、高野季樹採集；1雌、秩父市吉田、2011年9月12日、岩田朋文採集；7雄2雌、秩父市下影森、2025年4月26日、内田大貴採集；1雄1雌、秩父市栃谷、2007年5月29日、岩田泰幸採集；1雄1雌、秩父市近戸町、2007年8月3日、岩田泰幸採集；1雄1雌、秩父市中寺尾、2011年9月12日、岩田朋文採集

〈備考〉

埼玉県内では広く記録が報告されている。本研究の調査でも多様な環境の各所で採集された。

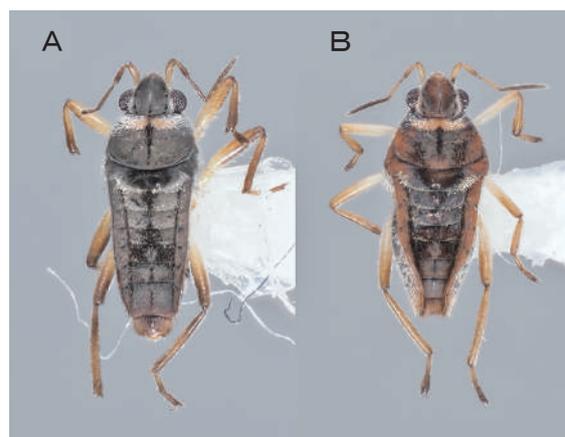


図1. ケシカタピロアメンボ（A，雄；B，雌）

2. ホルバートケシカタピロアメンボ

Microvelia horvathi Lundblad, 1933

〈文献記録〉

【東部】久喜市青葉・青毛、幸手市松石、北

葛飾郡松伏町金杉

【西部】鳩山町〔詳細未記載（古旗ほか, 2023c）〕、飯能市〔詳細未記載（古旗ほか, 2023b）〕

【中央】川口市舟戸町

【北部】羽生市三田ヶ谷〔羽生水郷公園〕

（林, 1998; 田悟, 2020; 古旗ほか, 2023b, c; 高野・内田, 2024; 内田ほか, 2024b, 2025）
〈調査記録〉

【東部】1雄1雌、行田市埼玉、2025年6月21日、佐藤日向採集；1雌、羽生市上新郷、2025年7月12日、佐藤日向採集；1雌、加須市大越、2025年7月12日、佐藤日向採集；1雌、草加市新栄、2021年5月29日、内田大貴採集；2雄2雌、越谷市大吉、2025年6月8日、内田大貴採集；3雄2雌、蓮田市閏戸、2023年5月8日、内田大貴採集；1雌、蓮田市閏戸、2025年7月21日、阿部眞大採集；1雄1雌、蓮田市蓮田、2025年7月21日、阿部眞大採集；2雌、幸手市高須賀、2023年9月28日、高野季樹採集；1雄4雌、春日部市飯沼、2023年5月20日、高野季樹採集；1雄1雌、春日部市新川、2025年6月29日、阿部眞大採集；4雄10雌、北葛飾郡松伏町築比地、2023年8月20日、高野季樹採集；1雄1雌、北葛飾郡松伏町魚沼、2025年6月29日、阿部眞大採集；1雄1雌、吉川市中島、2025年7月21日、阿部眞大採集；1雄1雌、白岡市上野田、2025年7月21日、阿部眞大採集；1雄1雌、南葛飾郡宮代町山崎、2025年7月21日、阿部眞大採集

【西部】1雌、比企郡嵐山町將軍沢、2023年10月18日、高野季樹採集；1雄3雌、比企郡嵐山町千手堂、2023年9月30日、高野季樹採集；2雄1雌、東松山市神戸、2024年6月23日、高野季樹採集；2雄2雌、比企郡川島町出丸下郷、2025年8月23日、佐藤日向採集

【中央】1雄2雌、桶川市川田谷、2025年6月21日、佐藤日向採集；3雌、鴻巣市原馬室、2023年10月18日、高野季樹採集；1雌、鴻巣市原馬室、2025年6月21日、佐藤日向採集；1雄、鴻巣市滝馬室、2024年3月30日、内田大貴採集；15雄13雌、鴻巣市開新田、2025年7月5日、高野季樹採集；1雌、さいたま市緑区南部領辻、2024年6月16日、高野季樹採集；3雄7雌（図2A, B）、さいたま

市見沼区見山、2025年6月16日、高野季樹採集；4雌、上尾市畔吉、2025年8月3日、阿部眞大採集；1雄2雌、上尾市平方、2025年8月20日、佐藤日向採集

【北部】1雄、熊谷市上川上、2025年6月21日、佐藤日向採集；3雄8雌、熊谷市佐谷田、2025年8月3日、内田大貴採集；2雄1雌、児玉郡美里町広木、2025年4月29日、高野季樹採集；1雄1雌、本庄市児玉町秋山、2025年4月29日、高野季樹採集；1雌、大里郡寄居町桜沢、2011年9月17日、岩田朋文採集

【秩父】1雌、秩父郡皆野町下田野、2009年9月20日、岩田朋文採集；1雄、秩父郡横瀬町中郷、2006年7月19日、岩田朋文採集；1雄1雌、秩父郡横瀬町中郷、2009年8月29日、岩田朋文採集；1雄2雌、秩父郡横瀬町横瀬、2006年9月13日、岩田朋文採集；1雌、秩父郡横瀬町横瀬、2007年7月16日、阿部眞大採集；1雌、秩父市下吉田、2023年5月5日、高野季樹採集

〈備考〉

国内では比較的各所に普通とされているが（中島ほか, 2020）、埼玉県内ではこれまで採集記録は多くなかった。本研究の調査では、県内の各地域で採集され、広く分布していることが明らかとなった。

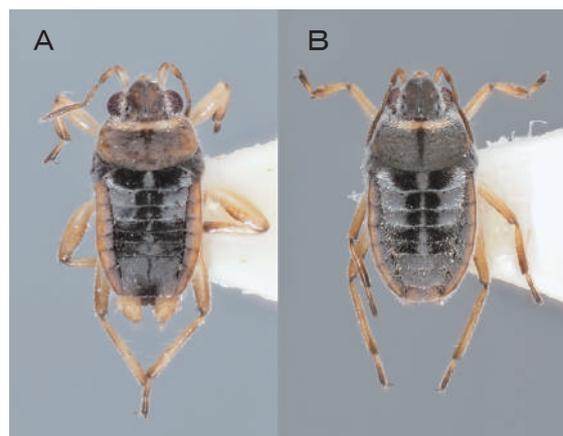


図2. ホルバートケシカタビロアメンボ
（A, 雄; B, 雌）

3. カスリケシカタビロアメンボ

Microvelia kyushuensis Esaki & Miyamoto, 1955
〈文献記録〉

【東部】加須市北篠崎（宮崎・相蘇, 2022）

〈調査記録〉

【中央】3雄3雌（図3）、川口市行衛、2025年9月22日、阿部眞大採集

〈備考〉

これまで埼玉県内では加須市で記録されて以降（宮崎・相蘇，2022）、生息状況の詳細は不明であった。本研究の現地調査では、川口市の1地点でのみ採集され、水生植物の繁茂した水深の浅い湿地状態の水域で確認された。

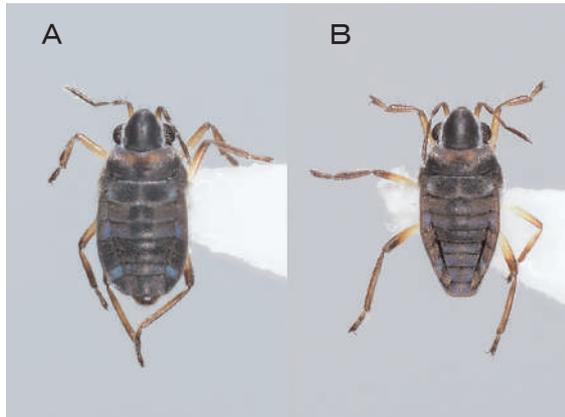


図3. カスリケシカタビロアメンボ (A, 雄; B, 雌)

4. マダラケシカタビロアメンボ

Microvelia reticulata (Burmeister, 1835)

〈文献記録〉

【東部】羽生市三田ヶ谷 [羽生水郷公園]

【中央】さいたま市桜区 [旧浦和市秋ヶ瀬]、戸田市道満、桶川市 [詳細未記載（内田ほか，2024a）]

【秩父】秩父市久那

（林，1998；さいたま市，2021；内田ほか，2024a，2025）

〈調査記録〉

【中央】2雄（図4A）2雌、さいたま市西区、2024年3月20日、内田大貴採集；3雌、さいたま市西区、2025年1月11日、高野季樹採集；2雄4雌、さいたま市岩槻区、2024年5月18日、内田大貴採集

【秩父】8雌（図4B）、秩父市、2025年4月25日、内田大貴採集

〈備考〉

埼玉県 RDB で準絶滅危惧1型（NT1）に選定されている（埼玉県環境部みどり自然課編，2018）。県内では2000年台以降の記録がみられなかったが、最近再発見された。本研究

の調査でも、さいたま市の2地点と秩父市の止水域において確認された。

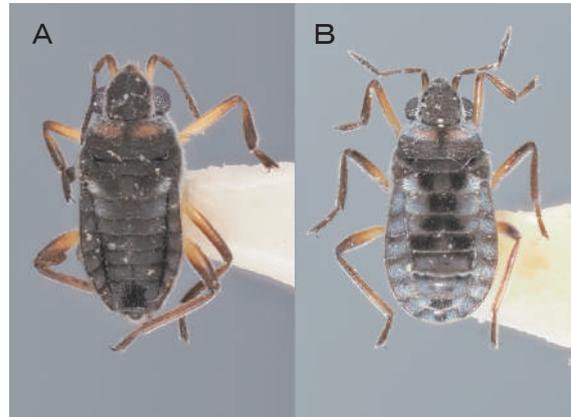


図4. マダラケシカタビロアメンボ (A, 雄; B, 雌)

5. ナガレカタビロアメンボ

Pseudovelgia tibialis Esaki & Miyamoto, 1955

〈文献記録〉

【東部】三郷市 [「北東部」とのみ記載（田悟，2006）]

【西部】小川町 [詳細未記載（古旗ほか，2023a）]、飯能市 [詳細未記載（古旗ほか，2023b）]

【中央】さいたま市桜区 [旧浦和市秋ヶ瀬]（林，1998；田悟，2006；さいたま市，2021；古旗ほか，2023a，b）

〈調査記録〉

【東部】3雄、蓮田市蓮田、2025年7月21日、阿部眞大採集；1雄1雌、白岡市岡泉、2025年7月21日、阿部眞大採集；1雄1雌、南葛飾郡宮代町山崎、2025年6月29日、阿部眞大採集；1雄1雌、羽生市上新郷、2025年7月12日、佐藤日向採集

【西部】1雄1雌、入間郡越生町大谷、2024年6月23日、高野季樹採集；1雄、秩父郡東秩父村安戸、2021年4月24日、内田大貴採集；2雄1雌、秩父郡東秩父村皆谷、2025年8月9日、荒井康充採集；3雄1雌、比企郡嵐山町将軍沢、2023年10月18日、高野季樹採集；1雄、比企郡嵐山町広野、2025年4月29日、高野季樹採集；1雄2雌、東松山市神戸、2024年6月23日、高野季樹採集；2雄1雌、狭山市柏原、2025年8月13日、荒井康充採集；1雄1雌、日高市高萩、2025年7月27日、阿部眞大採集

【中央】1雄、さいたま市見沼区見山、2025

年1月12日、高野季樹採集；1雄1雌、北足立郡伊奈町小室、2025年7月21日、阿部眞大採集；1雄1雌、上尾市中分、2025年7月9日、阿部眞大採集

【北部】7雄3雌（図5A, B）、熊谷市佐谷田、2025年8月3日、内田大貴採集

【秩父】1雄2雌、秩父郡皆野町三沢、2024年7月27日、高野季樹採集

〈備考〉

埼玉県内ではこれまで標本を伴う記録として報告された文献が少なく、詳細な生息状況が不明であった。本研究の調査では河川等の流水域を中心に県内の複数箇所を確認され、広く分布していることが明らかになった。

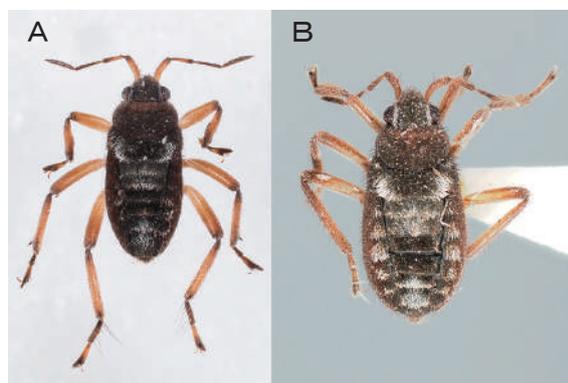


図5. ナガレカタビロアメンボ (A, 雄; B, 雌)

6. エサキナガレカタビロアメンボ

Pseudovelvia esakii Miyamoto, 1959

〈文献記録〉

【中央】戸田市下笹目 [荒川]

【西部】和光市下新倉 [荒川]

(林ほか, 2023 ; 内田, 2023 ; 内田・山川, 2023)

〈調査記録〉

【東部】10雄5雌、蓮田市閩戸、2025年7月21日、阿部眞大採集

【西部】2雄2雌、川島町上大屋敷、2025年6月1日、内田大貴採集

【中央】6雄2雌、戸田市内谷、2025年8月23日、内田大貴採集；4雄6雌（図6A, B）、上尾市畔吉、2025年8月3日、阿部眞大採集；1雄1雌、北本市荒井、2025年8月24日、阿部眞大採集

〈備考〉

埼玉県内ではこれまで荒川本流の波消しブ

ロック等の護岸付近で確認されていた（内田, 2023 ; 内田・山川, 2023）。本研究の調査で新たに戸田市から北本市までの河川の岸際や、河川と接続した止水域の岸際などで採集された。確認地点はすべて荒川水系であった。

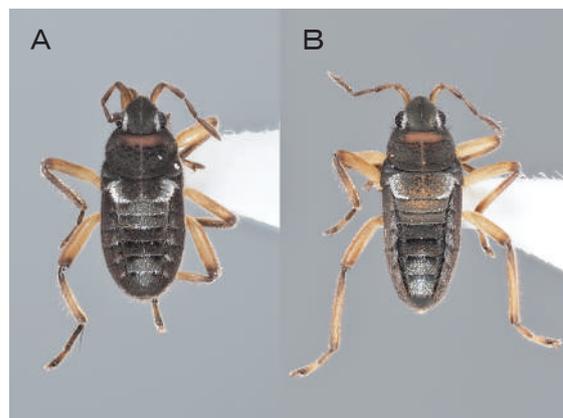


図6. エサキナガレカタビロアメンボ (A, 雄; B, 雌)

7. オヨギカタビロアメンボ

Xiphovelia japonica Esaki & Miyamoto, 1959

〈文献記録〉

【東部】草加市新栄 [利根川水系綾瀬川]

【中央】川口市藤兵衛新田 [利根川水系綾瀬川]、さいたま市見沼区見山 [荒川水系芝川]、さいたま市緑区新宿 [荒川水系芝川]

(司村, 2019; 阿部・内田, 2022; 相蘇ほか, 2023)。

〈調査記録〉

【東部】3雌、越谷市、2025年6月8日、阿部眞大採集；1雄1雌、春日部市、2025年6月29日、阿部眞大採集；3雄2雌（図7A, B）、北葛飾郡杉戸町、2025年6月29日、阿部眞大採集

【中央】1雄1雌、上尾市、2025年8月3日、阿部眞大採集

〈備考〉

環境省RLで準絶滅危惧 (NT) に選定されている（環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, online）。司村 (2019) での埼玉県初記録以降、県央部・県東部の河川のみで記録されていた。本研究の調査で新たに越谷市、春日部市、杉戸町、上尾市の河川や水路の岸際で採集された。

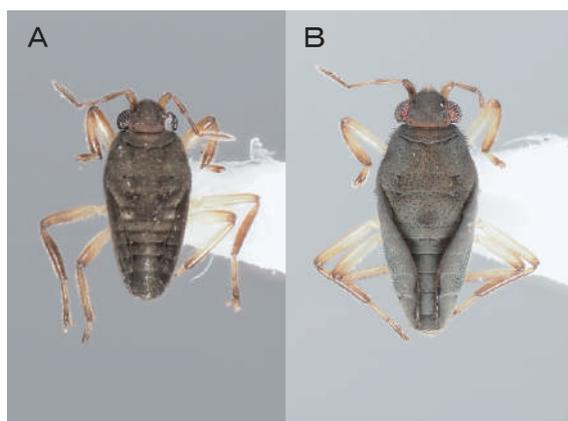


図7. オヨギカタビロアメンボ (A, 雄; B, 雌)

考 察

埼玉県においてこれまでに記録されていたカタビロアメンボ科7種のうち、すべての種で本研究の調査により県内の新たな分布が明らかとなった。ケシカタビロアメンボやホルバートケシカタビロアメンボ、ナガレカタビロアメンボは、県内の広範囲に分布していることが明らかとなった。

近年、埼玉県内から記録されたエサキナガレカタビロアメンボとオヨギカタビロアメンボの2種は局所的ながらも流水域とその周辺を中心に分布が確認された。また、近年まで県内の生息状況が不明であったマダラケシカタビロアメンボも少数ながら、複数地点で生息が確認された。一方、カスリケシカタビロアメンボは、本研究の現地調査では川口市の1地点のみの発見にとどまった。本種は低平地の植物が豊富な池沼に生息する種とされている（中島ほか, 2020）。確認された1地点も平野部に位置し、採集当時は水位が低く湿地状ではあったが、水生植物が豊富に生育している点は類似した環境であった。なお、既知記録のある加須市の産地でも筆者らの再調査では確認できず、特に中央から東部地域にかけて類似した環境を調査したが本種は確認できなかった（阿部眞大・内田大貴・高野季樹, 未発表データ）。埼玉県に隣接する都県でも、本種の記録は局所的で生息地も少ないことを踏まえると（相蘇, 2021; 内田・菅谷, 2023; 高野ほか, 2024; 内山ほか, 2024; 茨城陸生無脊椎動物研究会編, 2025）、埼玉県内においてカスリケシカタビロアメンボは希少種である可能性が考えられる。

本研究では県西部に位置する和光市や志木市など、一部市町村で調査が実施できなかった地域もあることから、今後も埼玉県全体で継続して調査を進めていくことが必要である。

謝 辞

本稿を執筆するにあたり、埼玉県産カタビロアメンボ科標本の御恵与をいただいた岩田朋文氏（富山市科学博物館）、荒井康充氏（さいたま水族館）にこの場を借りて厚く御礼申し上げる。

引用文献

- 阿部眞大, 内田大貴 (2022) 荒川水系芝川（さいたま市）で採集されたオヨギカタビロアメンボの記録. 寄せ蛾記 185 : 5-7.
- 相蘇 巧 (2021) 千葉県からのカスリケシカタビロアメンボの記録. 月刊むし 610 : 7-8.
- 相蘇 巧, 阿部眞大, 内田大貴 (2023) 埼玉県におけるオヨギカタビロアメンボ長翅型の記録. 月刊むし 625 : 44-45.
- Aiso T. & Ishikawa T. (2024) A new species of the small water strider genus *Microvelia* (Hemiptera: Heteroptera: Veliidae) from the Ryukyus, Japan, with notes on the distribution of *M. kyushuensis*. Zootaxa 5468: 350-360.
- 古旗峻一, 内田大貴, 村橋卓也 (2023a) 小川町の水田で採集された絶滅危惧種を含む水生甲虫目及び半翅目. 埼玉県立自然の博物館 研究報告 17 : 127-134.
- 古旗峻一, 内田大貴, 村橋卓也, 岩田泰幸 (2023b) 日高市及び飯能市で採集された水生コウチュウ目・カメムシ目. 寄せ蛾記 189 : 24-31.
- 古旗峻一, 内田大貴, 岩田泰幸 (2023c) 鳩山町で確認された水生コウチュウ目・カメムシ目の記録. 寄せ蛾記 188 : 51-53.
- 林 成多, 相馬理央, 渡部晃平 (2023) 本州産ナガレカタビロアメンボ属のDNAバーコード領域. ホシザキグリーン財団研究報告特別号 32 : 1-7.
- 林 正美 (1998) 埼玉県の半翅類 - 異翅目および同翅目頸吻亜目. 埼玉県昆虫誌 1. pp. 147-234. 埼玉昆虫談話会.

- 林 正美, 宮本正一 (2018) 半翅目 Hemiptera. 川合次次・谷田一三編, 日本産水生昆虫科・属・種への検索 第二版. pp. 329-427. 東海大学出版部.
- 茨城陸生無脊椎動物研究会編 (2025) 茨城県産昆虫目録 採集データを含む詳細版 (III) カメムシ目 (半翅目). <https://www.nat.museum.ibk.ed.jp/wp-content/uploads/2025/05/1748333634.pdf> (2025年9月8日閲覧)
- Kato M., Mitamura T., Matsushima M., Ito W., Iwasaki K., & Aiso T. (2025) First Record of *Rhagovelia sumatrensis* Lundblad, 1933 (Heteroptera: Veliidae) from Japan. *Japanese Journal of systematic Entomology* 31: 204-206.
- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (Online) 環境省レッドリスト2020. <https://www.env.go.jp/press/files/jp/114457.pdf> (2025年6月18日閲覧)
- Matsushima R. (2022) First report of the genus *Thirumalaia* Zettel & Laciny, 2021 (Hemiptera: Veliidae) in the Ryukyu Islands, Japan, with the description of a new species. *Zootaxa* 5138: 339-346.
- Matsushima R., Morii T., Hiraishi N., & Ohba S. (2021) A new species of small water strider in the genus *Microvelia* (Hemiptera: Heteroptera: Veliidae) from Aichi Prefecture, Honshu, Japan. *Zoological Science* 38: 565-571.
- 松島良介, 相蘇 巧, 平石直樹 (2022) 日本のケシカタビロアメンボ亜科一最近の動向と採集・飼育について一. *ニッチェ・ライフ* 10 : 82-87.
- 三田村敏正, 平澤 桂, 吉井重幸 (2017) タガメ・ミズムシ・アメンボハンドブック. 文一総合出版.
- Miyamoto S. (1959) Veliidae of Japan and adjacent territory III. A new species of *Pseudovelina* Hoberlandt from Japan, with description of its larval stages. *Kontyu* 27: 81-85.
- 宮崎裕輔, 相蘇 巧 (2022) 埼玉県からのカスリケシカタビロアメンボの初記録. *月刊むし* 620 : 48-49.
- 中島 淳, 林 成多, 石田和男, 北野 忠, 吉富博之 (2020) ネイチャーガイド日本の水生昆虫. 文一総合出版.
- 西原昇吾, 荻部治紀 (2009) 池や田んぼの虫が消えた南関東. *昆虫と自然* 44:13-20.
- 野澤雅美 (2005) 嵐山町の半翅類. 嵐山町博物館調査報告 10 : 98-116.
- 大河内哲二, 坂元 新, 新井健二 (1989) 久喜市の半翅類. 久喜市史編さん室編, 久喜市史調査報告書第14集 久喜市の動・植物 (II). pp. 108-127. 久喜市教育委員会.
- 埼玉県環境部みどり自然課 (2018) 埼玉県レッドデータブック動物編 2018(第4版) 埼玉県環境部みどり自然課編 (online) 埼玉県の地域区分. 埼玉みどりのポータルサイト. <https://midorinportal.pref.saitama.lg.jp/region/> (2025年6月18日閲覧)
- さいたま市 (2021) さいたま市史 自然編～昆虫類～.
- 司村宜祥 (2019) 埼玉県からオヨギカタビロアメンボを初記録. *Rostria* 63 : 95-96.
- 田悟敏弘 (2006) 埼玉県三郷市及び隣接するエリアにおける異翅目, 同翅目 (頸吻亜目) の記録一. *寄せ蛾記* 122:21-38.
- 田悟敏弘 (2020) 川口市昆虫リスト -VI- 2019年追加種と訂正2件. *寄せ蛾記* 177 : 56-68.
- 高野季樹, 内田大貴 (2024) 2023年に幸手市で採集した水生コウチュウ目・カメムシ目. *寄せ蛾記* 191 : 64-67.
- 高野季樹, 内田大貴, 小和田侑希 (2024) 東京都におけるカスリケシカタビロアメンボの記録. *月刊むし* 648 : 52-53.
- 内田大貴 (2023) 戸田市におけるエサキナガレカタビロアメンボ (カタビロアメンボ科) の生息環境に関する知見. *寄せ蛾記* 188 : 35-36.
- 内田大貴, 古旗峻一, 岩田泰幸 (2024a) 桶川市で採集されたマダラケシカタビロアメンボの記録. *寄せ蛾記* 192 : 191-192.
- 内田大貴, 古旗峻一, 高野季樹 (2024b) 2023年に北葛飾郡松伏町で確認した水生コウチュウ目・カメムシ目. *寄せ蛾記* 191 : 10-12.
- 内田大貴, 岩田泰幸, 高野季樹, 内山龍人 (2024c) 鳩山町における水生コウチュウ目・カメムシ目の追加記録一付 鳩山町の

- 水生コウチュウ・カメムシ目リストー. 寄せ蛾記 192 : 67-69.
- 内田大貴, 岩田泰幸, 荒井康充 (2025) 羽生水郷公園で確認された湿地性昆虫類 (コウチュウ目・カメムシ目). 埼玉県立川の博物館 紀要 25 : 33-40.
- 内田大貴, 菅谷和希 (2024) 千葉県における水生カメムシ目2種の記録. 月刊むし 632 : 52-53.
- 内田大貴, 山川宇宙 (2023) 和光市におけるエサキナガレカタビロアメンボの記録. 寄せ蛾記 190 : 26.
- 内山龍人, 高野季樹, 谷野彩奈, 國分直人, 大宮 悠, 内田大貴 (2024) 筑波研究学園都市の遊水地で確認された水生昆虫. るりぼし 55 : 58-64.
- 渡部晃平 (2016) 石川県のカタビロアメンボ科. ホシザキグリーン財団研究報告 19 : 113-127.
- Watanabe K. (2023) A new species of the broad-shouldered water strider genus *Microvelia* Westwood (Hemiptera: Heteroptera: Veliidae) from the Ogasawara (Bonin) Islands, Japan. *Zootaxa* 5375: 142-150.
- Watanabe K. & Hayashi M. (2023) A new species of *Pseudoveliea* Hoberlandt, 1950 (Hemiptera: Heteroptera: Veliidae) from Honshu, Japan. *Zootaxa* 5239: 551-562.